

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

横浜市現市庁舎街区活用事業 準備書のあらまし

三井不動産株式会社
(代表事業者)

本日の説明内容

1. 方法市長意見に対する事業者の見解
2. 事業計画の概要
3. 環境影響要因の抽出、評価項目の選定
4. 環境影響評価の概要
5. 事後調査
6. 対象地域

2

方法市長意見に対する 事業者の見解

3

準備書 P.10-7~8

方法市長意見に対する事業者の見解

| 市長意見の内容 | 事業者の見解の概要 |
|--|---|
| 1 事業計画 (1) 事業計画について コンセプトプランや実施方針等の市の上位計画を踏まえ、具体的な整備内容やこれら上位計画に寄与する部分等を準備書に明瞭に記載すること。 また、地域と環境への貢献について準備書に記載すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画と事業コンセプトの対応関係、施設の内容と事業コンセプトの関連を記載しました。 ・地域への貢献： 広場空間の配置や災害に強いインフラ整備について記載しました。 ・環境への貢献： 植栽予定樹種の選定にあたっての考え方を記載しました。 |
| 2 環境影響評価項目 (1) 工事中 ア 地盤 周辺に地盤沈下が生じないように、地盤の確認及び対策を検討すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地盤については既存資料を収集・整理して状況を把握しました。 ・今後、改めてボーリング調査を実施し、地盤の状況を確認したうえで工法を確定し、対策を検討します。 |

4

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

準備書 P.10-7~8

方法市長意見に対する事業者の見解

| 市長意見の内容 | 事業者の見解の概要 |
|--|---|
| イ 風害 突風等により周辺に悪影響が出ないよう適切な養生等を行うこと。 | ・工事中においては部材、建設発生土等の飛散が生じないよう適切な養生を行います。 |
| ウ 地域社会 a 工事用車両の想定台数及び走行ルートを明らかにすると共に、歩行者の安全を第一に考慮し、適切な予測、評価、環境保全措置等を準備書に記載すること。 | ・予測条件として、 工事用車両台数、走行ルートを準備書 に記載しました。 ・ 歩行者の安全を考慮 した環境保全措置等を検討しました。 |
| B 横浜スタジアムの最大集客人数を考慮して歩行者混雑について検討し、準備書に記載すること。 | 横浜スタジアムのプロ野球開催時における歩行者混雑 について検討しました。 |

5

準備書 P.10-7~8

方法市長意見に対する事業者の見解

| 市長意見の内容 | 事業者の見解の概要 |
|---|--|
| (2) 供用後 ア 生物多様性 生物、生態系について、周辺市街地に生息・生育する一般的な種を確認のうえ、緑化計画等と合わせて検討し、準備書に記載すること。 | ・ 現地調査 により一般的な動物種を確認しました。 ・ 調査結果及び緑化計画 を踏まえて、定性的な予測評価を行いました。 |
| イ 大気質 予測、評価する際には周辺建築物を考慮するように努めること。 | ・対象事業実施区域の周辺に、大気質に新たに影響を与える排出源の情報は確認されませんでした。 ・ 供用後の影響濃度はバックグラウンド濃度に比べて1%未満 と予測しており、周辺の建築物の密集による拡散濃度増加の可能性を考慮しても、評価の結果は変わらないと考えます。 |

6

準備書 P.10-7~8

方法市長意見に対する事業者の見解

| 市長意見の内容 | 事業者の見解の概要 |
|--|--|
| ウ 地域社会 a 横浜スタジアムとLVA棟の最大集客人数を考慮して歩行者混雑について検討し、準備書に記載すること。 | ・ LVA棟の用途 を考慮して計画建築物の利用者数を設定しました。 ・ プロ野球開催時 における歩行者混雑について検討しました。 |
| b 快適で安全な広場空間形成のため、滞留者を想定した対策及び運用等を検討し、準備書に記載すること。 | ・ 広場空間や歩道状空地 については、想定される利用者数に対して 十分な面積を確保 する計画とします。 ・ 密閉されないオープンな広場空間での様々な賑わいのあり方 を検討していきます。 |

7

事業計画の概要

8

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



対象事業の概要 準備書 P.2-1

| | |
|----------|--|
| 事業者の氏名 | (代表事業者) 三井不動産株式会社 代表取締役社長 菰田正信 |
| 事業の名称 | 横浜市現市庁舎街区活用事業 |
| 事業の種類、規模 | 高層建築物の建設(第1分類事業) 建築物の高さ : 約170m 延べ面積 : 約130,200㎡ |
| 計画区域 | 横浜市中区港町1丁目1番地 |

11

上位計画について 準備書 P.2-3

「横浜市現市庁舎街区等活用事業実施方針」
(平成29年3月 横浜市)

▼

土地活用の目的

「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマに地区の賑わいと活性化の核づくりを行います。

関内駅前の交通結節点機能を強化することで、都心臨海部各地区の連携と回遊性を高めます。

横浜らしい街並み景観を誘導します。

12

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

準備書 P.2-3

上位計画について

「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」 ((令和2年1月 横浜市))

- 機能の誘導
国際的な産学連携 観光・集客
- 景観の誘導
関内地区の玄関口として魅力と品格のある景観形成

「横浜市都市計画マスタープラン ・中区プラン 中区まちづくり方針」 ((令和2年3月 横浜市))

歴史・文化を保全・活用し、業務・商業機能を中心としながら、中心市街地として、住む人や働く人、訪れる人が共存するまち

13

準備書 P.2-6

対象事業のコンセプト

- ・新産業創造拠点とイノベーションオフィスにより、**国際的な産学連携**を展開
- ・地元とともに地域資源を発掘し、体験型観光サービスにより**集客力と回遊性**を強化
- ・行政棟の原風景と人のアクティビティが関内の顔となる、**周囲に開かれたシンボル空間**の形成
- ・地域団体との連携や事業者協働による、**関内・関外地区の活性化とブランド向上**

関内・関外地区の賑わいの創出を図る

- ・地区の新たな方向性やまちづくりの方針に沿った土地活用
- ・産学連携による起業促進やその効果の波及による**業務機能の再生**
- ・ここに来たくなる新たな魅力の創出による**観光・集客の拠点形成**

14

準備書 P.2-10

施設概要図

この図は、タワー棟、LVA棟、行政棟の3つの主要な建物群を3Dで表現しています。タワー棟は最も高く、LVA棟と行政棟はそれより低い位置にあります。各建物には様々な機能が割り当てられています。

- 業務施設
- 教育施設
- ウェルネスセンター
- 新産業創造拠点
- 交通結節拠点
- ライブビューイングアリーナ
- 観光・集客施設
- ホテル
- 商業施設

15

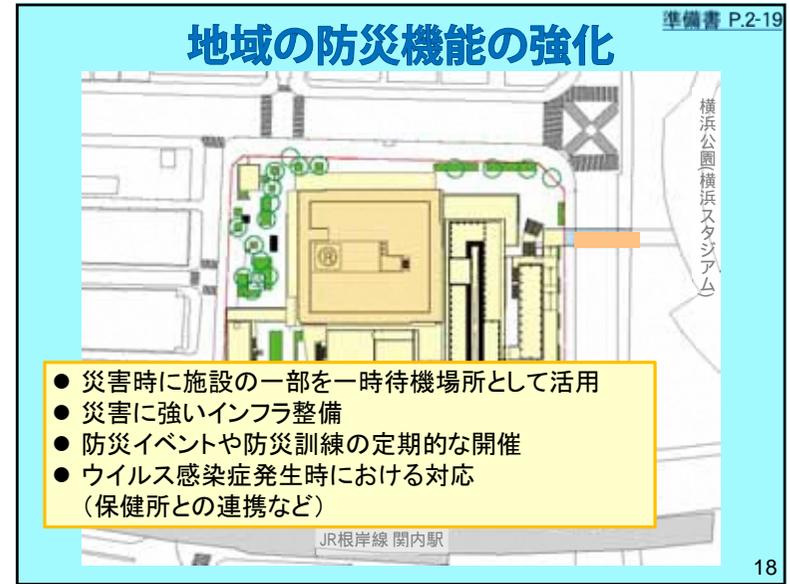
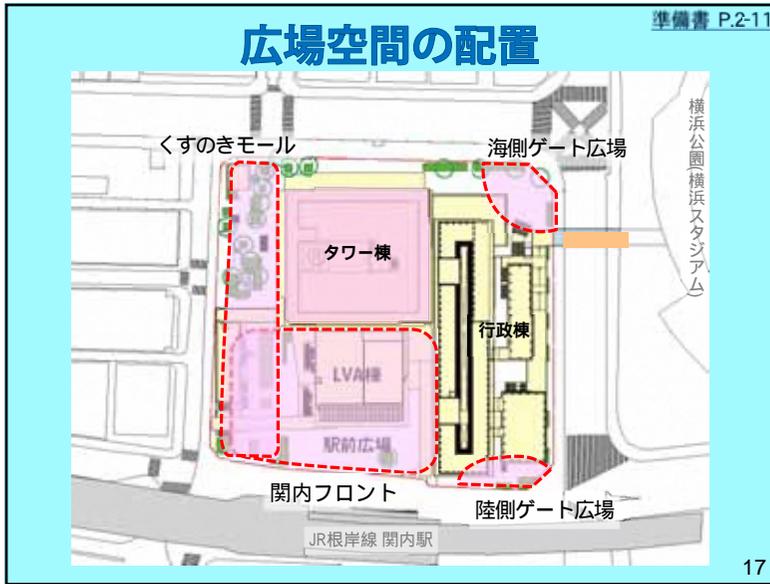
準備書 P.2-11

施設配置図

この図は、関内駅（JR根岸線）と横浜公園横浜スタジアムを背景とした施設の配置を示しています。タワー棟（32階）は左側に、LVA棟は中央に、行政棟（8階）は右側に配置されています。

16

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



施工計画：工事工程 準備書 P.2-26

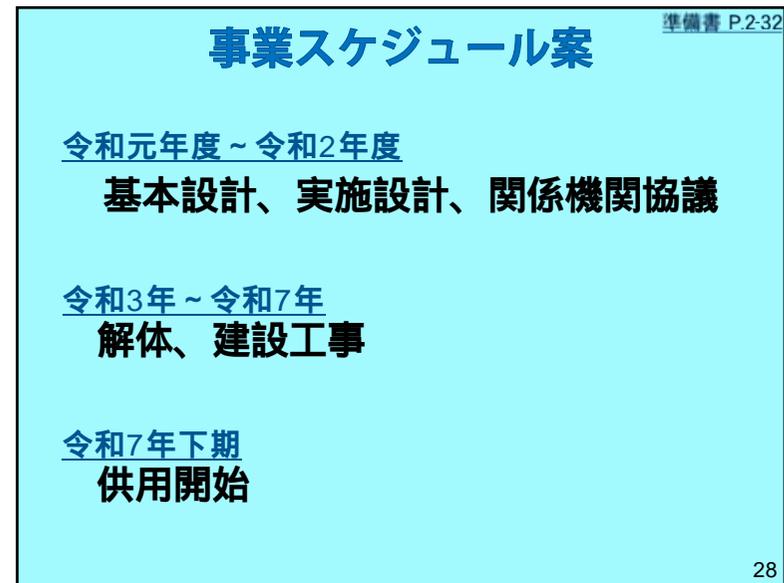
| 延べ年 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 工種 | | | | | |
| 解体工事 | ■ | ■ | ■ | | |
| 準備工事 | ■ | ■ | | | |
| 山留工事 | | ■ | ■ | ■ | |
| 杭工事 | | ■ | ■ | | |
| 土工事 | | ■ | ■ | | |
| 基礎躯体工事 | | ■ | ■ | ■ | |
| 地下鉄骨工事 | | ■ | ■ | | |
| 地下躯体工事 | | ■ | ■ | | |
| 地上鉄骨工事 | | | ■ | ■ | ■ |
| 地上躯体工事 | | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 外装工事 | | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 内装工事 | | | ■ | ■ | ■ |
| 外構工事 | | | ■ | | ■ |
| 検査 | | | | ■ | ■ |

■ タワー棟
■ LVA棟
■ 行政棟

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。（横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号）

24

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

環境影響要因の抽出、 評価項目の選定

29

環境影響要因の抽出

準備書 P.5-1

| | | |
|------------|-----------------|---------|
| 工事中 | 建設機械の稼働 | |
| | 工事用車両の走行 | |
| | 地下掘削 | |
| | 建物の建設（建物の解体も含む） | |
| 供用後 | 施設の存在 | 建物の存在 |
| | 施設の供用 | 建物の供用 |
| | | 関連車両の走行 |

30

環境影響要因と評価項目の関連表

準備書 P.5-2

工事中

| 環境影響評価項目 | | 環境影響要因 | | | |
|-----------|--------|---------|----------|------|-------|
| | | 建設機械の稼働 | 工事用車両の走行 | 地下掘削 | 建物の建設 |
| 廃棄物・建設発生土 | 細目 | | | | |
| | 一般廃棄物 | | | | |
| | 産業廃棄物 | | | | |
| 建設発生土 | | | | | |
| 大気質 | 大気汚染 | | | | |
| 騒音 | | | | | |
| 振動 | | | | | |
| 地盤 | 地盤沈下 | | | | |
| 地域社会 | 交通混雑 | | | | |
| | 歩行者の安全 | | | | |

31

環境影響要因と評価項目の関連表

準備書 P.5-2

供用後

| 環境影響評価項目 | | 環境影響要因 | | |
|-----------|------------|--------|-------|---------|
| | | 施設の存在 | 施設の供用 | |
| | 細目 | 建物の存在 | 建物の供用 | 関連車両の走行 |
| 温室効果ガス | 温室効果ガス | | | |
| 生物多様性(動物) | 動物 | | | |
| 廃棄物・建設発生土 | 一般廃棄物 | | | |
| | 産業廃棄物 | | | |
| 大気質 | 大気汚染 | | | |
| 騒音 | | | | |
| 振動 | | | | |
| 電波障害 | テレビジョン電波障害 | | | |
| 日影 | 日照障害 | | | |
| 風害 | 局地的な風向・風速 | | | |
| 安全 | 浸水 | | | |
| 地域社会 | 交通混雑 | | | |
| | 歩行者の安全 | | | |
| 景観 | 景観 | | | |

32

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

環境影響評価の概要

33

温室効果ガス

34

温室効果ガス 予測項目

- 建物の供用(設備機器等の稼働)に伴う温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量

35

温室効果ガス 予測結果

準備書 P.6.1-12

電力由来の二酸化炭素排出量

| 施設用途 | 現計画の 年間電力使用量 (千kWh/年) | 二酸化炭素排出係数 (tCO ₂ /千kWh) | 電力由来 二酸化炭素 年間排出量 (tCO ₂ /年) |
|------|-----------------------------|---------------------------------------|---|
| | ① | | ② × ③ |
| 業務施設 | 13,312.0 | 0.462 | 6,150.14 |
| 宿泊施設 | 3,402.0 | | 1,571.72 |
| 商業施設 | 1,270.2 | | 586.83 |
| 合計 | 17,984.2 | - | 8,308.70 |

36

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

温室効果ガス 予測結果 準備書 P.6.1-12

都市ガス由来の二酸化炭素排出量

| 施設用途 | 現計画の 年間都市ガス使用量 (千Nm ³ /年) | 二酸化炭素排出係数 (kgCO ₂ /Nm ³) | 都市ガス由来 二酸化炭素 年間排出量 (tCO ₂ /年) |
|------|--|--|---|
| | | | × |
| 業務施設 | 634.40 | 2.29 | 1,452.78 |
| 宿泊施設 | 275.94 | | 631.90 |
| 商業施設 | 51.10 | | 117.02 |
| 合計 | 961.44 | - | 2,201.70 |

・高効率機器の採用 ・照明や空調機の省エネ制御

さらなる消費エネルギー、
二酸化炭素排出量の削減に努めます。

37

環境の保全のための措置 準備書 P.6.1-12.13

建物の供用に伴う二酸化炭素の排出量等

- **高効率機器**（変圧器、全熱交換機等）を採用して、消費エネルギーの削減に努めます。
- **LED照明器具**や**人感センサー**の採用等の**照明制御**により、消費エネルギーの削減に努めます。
- 外構照明等に**太陽光パネル付き**の照明を使うなど、太陽光エネルギーを導入します。

など

38

環境の保全のための措置 準備書 P.6.1-12.13

建物の供用に伴う二酸化炭素の排出量等

- 高効率機器（変圧器、全熱交換機等）を採用して、消費エネルギーの削減に努めます。
- LED照明器具や人感センサーの採用等の

環境保全目標

二酸化炭素排出量を可能な限り抑制すること

- 外構照明等に太陽光パネル付きの照明を使うなど、太陽光エネルギーを導入します。

など

39

生物多様性（動物）

40

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

準備書 P.6.2-22

予測条件（植栽予定樹種）

| 植栽予定樹種 | | |
|--------|----|--------------------------------------|
| 高木 | 常緑 | シラカシ タブノキ ヒメユズリハ クスノキ ヤブニッケイ ヤマモモ |
| | 落葉 | オオシマザクラ アキニレ エゴノキ エノキ |
| 低木 | 常緑 | ヤブツバキ サザンカ ソヨゴ モチノキ モッコク トベラ など |
| | 落葉 | ガクアジサイ ユキヤナギ アキグミ ノリウツギ |

41

準備書 P.6.2-22

予測条件（植栽予定樹種）

鳥を誘引すると考えられる種

| 植栽予定樹種 | | |
|--------|----|---|
| 高木 | 常緑 | シラカシ タブノキ ヒメユズリハ クスノキ ヤブニッケイ ヤマモモ |
| | 落葉 | オオシマザクラ アキニレ エゴノキ エノキ |
| 低木 | 常緑 | ヤブツバキ サザンカ ソヨゴ モチノキ モッコク トベラ など |
| | 落葉 | ガクアジサイ ユキヤナギ アキグミ ノリウツギ |

42

準備書 P.6.2-22

予測条件（植栽予定樹種）

昆虫(チョウ)を誘引すると考えられる種

| 植栽予定樹種 | | |
|--------|----|--|
| 高木 | 常緑 | シラカシ タブノキ ヒメユズリハ クスノキ ヤブニッケイ ヤマモモ |
| | 落葉 | オオシマザクラ アキニレ エゴノキ エノキ |
| 低木 | 常緑 | ヤブツバキ サザンカ ソヨゴ モチノキ モッコク トベラ など |
| | 落葉 | ガクアジサイ ユキヤナギ アキグミ ノリウツギ |

43

準備書 P.6.2-23

予測結果

植栽予定樹種

臨海部になじむ樹種

鳥類やチョウを誘引することが可能な樹種
(特に冬季の鳥類の餌、チョウの幼虫の餌)

- 緑の軸線を強化
- 地域に一般的に生息する動物種 (ヒヨドリ、メジロ、アオスジアゲハ等) の新たな生息環境を形成
- 季節を問わない生物多様性の向上

44

環境の保全のための措置 準備書 P.6.2-24

施設の存在に伴う生物多様性(動物)への影響

- 地上部において、**四季折々の魅力を感じられる植栽**を行います。
- **鳥や蝶等の生き物を誘う樹木等**を植栽樹木として選定することで、**生物多様性の確保に貢献する場の創出**を図ります。
- 対象事業実施区域内に残る**既存樹木(常緑樹)**は、現市庁舎街区の**レガシー(遺産)**として、また、地域の**シンボルツリー群**として**供用後も極力現位置保存させることを検討**していきます。

など

45

環境の保全のための措置 準備書 P.6.2-24

施設の存在に伴う生物多様性(動物)への影響

- 地上部において、**四季折々の魅力を感じられる植栽**を行います。
- **鳥や蝶等の生き物を誘う樹木等**を植栽樹木として選定することで、**生物多様性の確保に貢献する場の創出**を図ります。

環境保全目標

対象事業実施区域及びその周辺において都市に適応した種の生息を確認すること

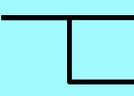
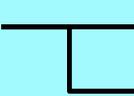
鳥類 : ヒヨドリやメジロ等
昆虫類 : アオスジアゲハ等

46

廃棄物・建設発生土

47

廃棄物・建設発生土 予測項目

- 工事中  産業廃棄物
建設発生土
- 供用後  事業系一般廃棄物
産業廃棄物

48

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

廃棄物・建設発生土 予測項目

- ・工事中
 - 産業廃棄物
 - 建設発生土
- ・供用後
 - 事業系一般廃棄物
 - 産業廃棄物

49

準備書 P.6.3-20~6.3-22

廃棄物・建設発生土 予測結果

産業廃棄物及び建設発生土の発生量

| 区分 | | 工事期間全体での発生量 |
|------|-----------------|-----------------------|
| 解体工事 | アスファルトコンクリートがら等 | 3,814.2t |
| | アスベスト | 65.3t |
| 新築工事 | コンクリートがら等 | 4,414t |
| | 建設発生土 | 約43,100m ³ |

50

準備書 P.6.3-23

環境の保全のための措置

工事中に発生する廃棄物及び建設発生土

- 過剰な梱包を控え、産業廃棄物の発生抑制を図ります。
- 特定建設資材廃棄物については、法令等に基づき、極力資源化に努めます。
- アスベストの収集、運搬及び処分にあたっては、法令等に基づき、適切な処理・処分を行います。

など

51

準備書 P.6.3-23

環境の保全のための措置

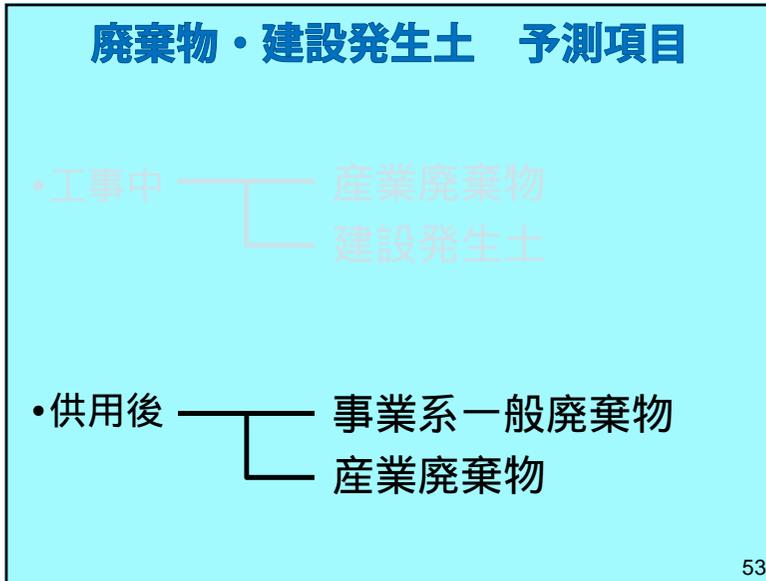
■工事中に発生する廃棄物及び建設発生土

- 過剰な梱包を控え、産業廃棄物の発生抑制を図ります。
- 特定建設資材廃棄物については、法令等に基づき、極力資源化に努めます。

| 環境保全目標 |
|---|
| 工事により発生する廃棄物及び建設発生土の発生抑制、再使用及び再生利用、並びにこれらの適正な処理・処分が行われること |

52

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



準備書 P.6.3-27

廃棄物・建設発生土 予測結果

供用後に発生する事業系一般廃棄物及び産業廃棄物発生量

| 用途 | 区分 | 発生量(kg/日) |
|------------------------------------|------|-----------|
| ・商業施設 | 店舗 | 367.9 |
| ・オフィス、大学 ・ウェルネスセンター ・新産業創造拠点 | 事務所 | 3,677.2 |
| ・ホテル | 宿泊施設 | 1,135.9 |
| ・ライブビューイング アリーナ | その他 | 490.8 |
| 合計 | | 5,671.8 |

54

準備書 P.6.3-28

環境の保全のための措置

供用後に発生する廃棄物

【計画立案時】

- 計画建築物内に整備する廃棄物保管施設は、**飛散防止等の環境保持と分別保管**に配慮した適切な規模の施設とします。

【供用後】

- 入居テナントに対して、**廃棄物の発生抑制及び分別搬出の徹底と、減量化や資源の再利用・再生利用**に努めることを重要事項説明書に記載し、協力を促していきます。

55

準備書 P.6.3-28

環境の保全のための措置

■供用後に発生する廃棄物

【計画立案時】

- 計画建築物内に整備する廃棄物保管施設は、**飛散防止等の環境保持と分別保管**に配慮した適切な規模の施設とします。

【供用後】

環境保全目標

建物の供用に伴い発生する廃棄物の減量化及び適正な処理・処分が行われること。
に記載し、協力を促していきます。

56

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

大気質

57

大気質 予測項目

- 工事中
 - 建設機械の稼働
 - 工事用車両の走行
 - 既存建物の解体工事
- 供用後
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

58

大気質 予測項目

- 工事中
 - 建設機械の稼働
 - 工事用車両の走行
 - 既存建物の解体工事
- 供用後
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

59

大気質 予測結果

準備書 P.6.4-37

建設機械の稼働による影響(二酸化窒素・長期予測)

| 予測時期 | 予測結果 (日平均値の年間98%値) (ppm) | 環境保全目標 (ppm) |
|-------------------|--------------------------------|-----------------|
| 工事開始後 10～21ヶ月目 | 0.051 | 0.06以下 |

60

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

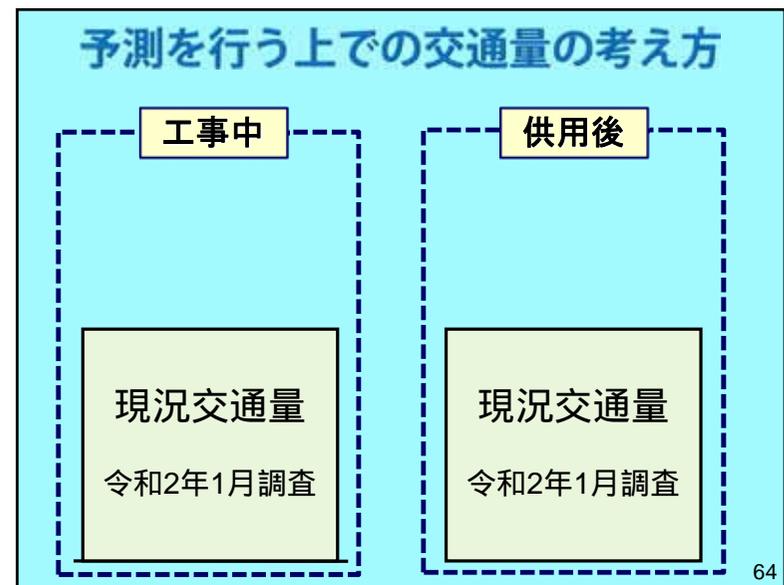
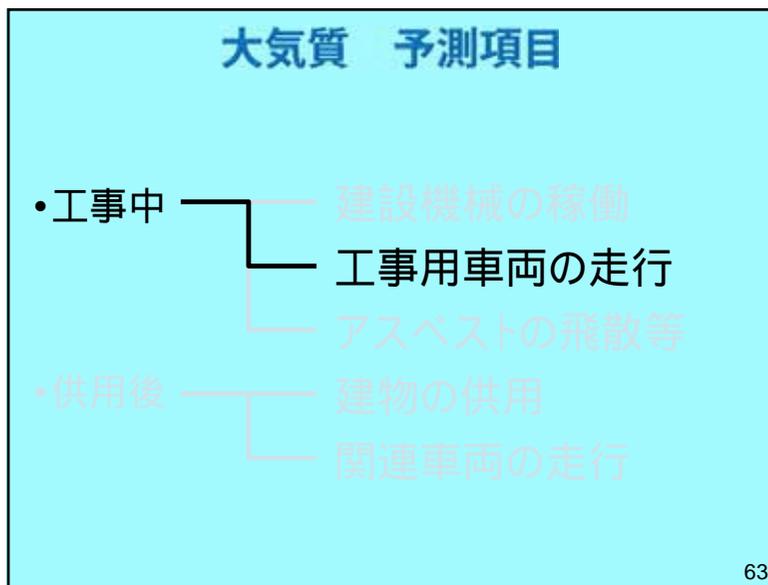
大気質 予測結果 準備書 P.6.4-37

建設機械の稼働による影響(浮遊粒子状物質・長期予測)

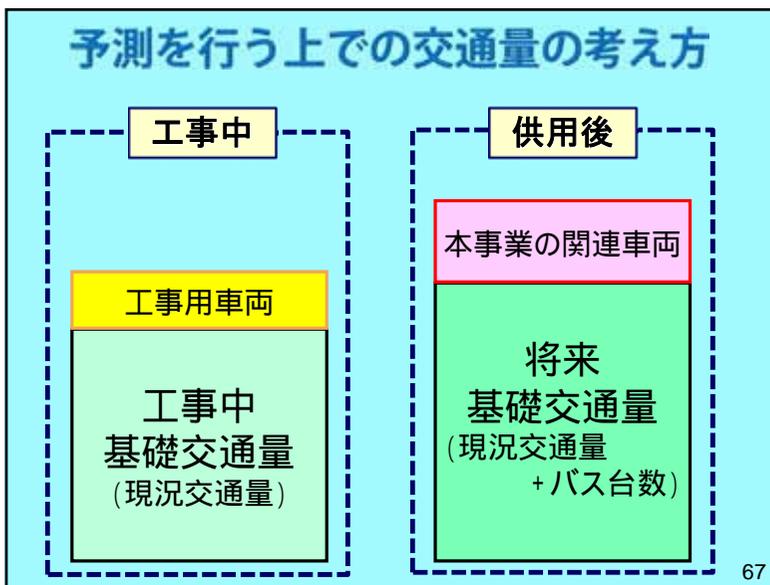
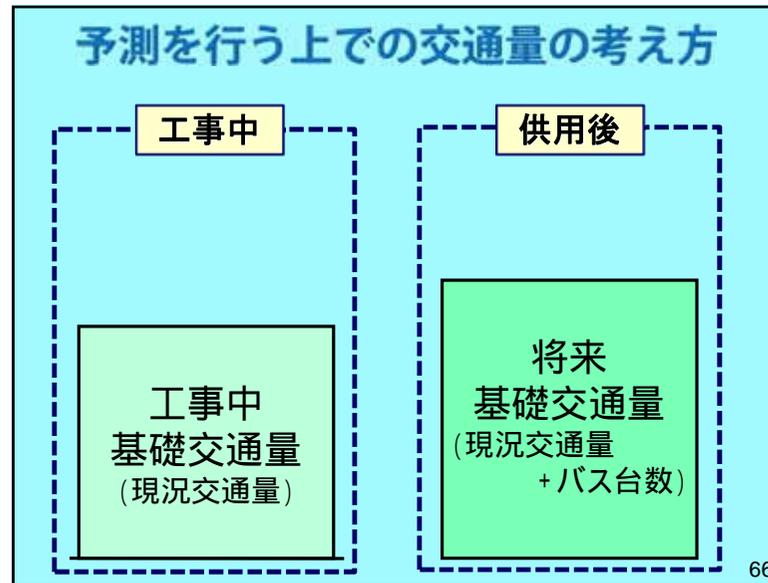
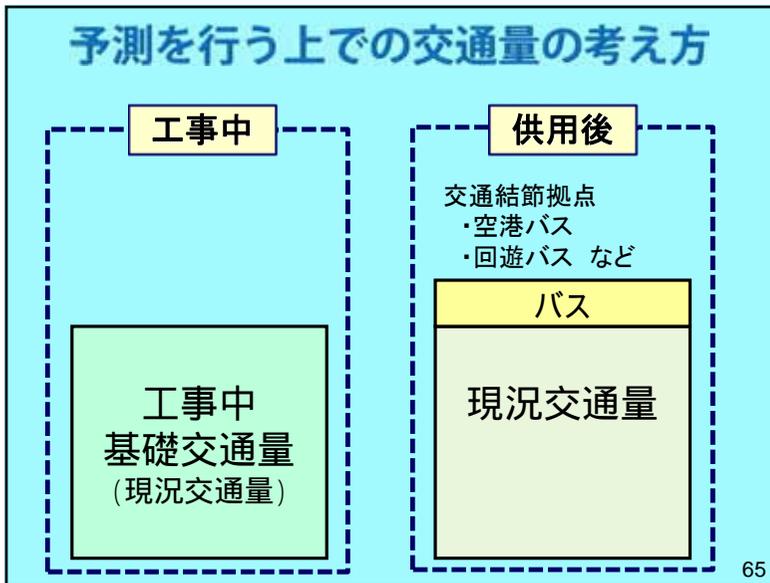
| 予測時期 | 予測結果 (日平均値の2%除外値) (mg/m ³) | 環境保全目標 (mg/m ³) |
|-------------------|--|--------------------------------|
| 工事開始後 11～22ヶ月目 | 0.052 | 0.10以下 |

61

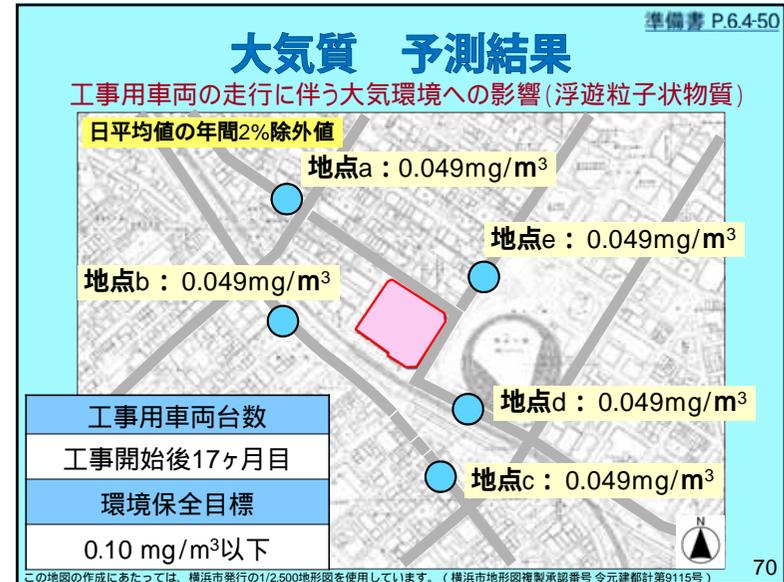
- ### 環境の保全のための措置 準備書 P.6.4-40
- 建設機械の稼働に伴う大気環境への影響
- **排出ガス対策型建設機械**を極力採用します。
 - 工事関係者に対して、高負荷運転をしないための指導・教育も徹底します。
 - 工事区域境界には**仮囲い**を設置します。
 - **建設発生土**の搬出の際は、**飛散防止**のための措置を行います。
- など
- 62



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



準備書 P.6.4-51

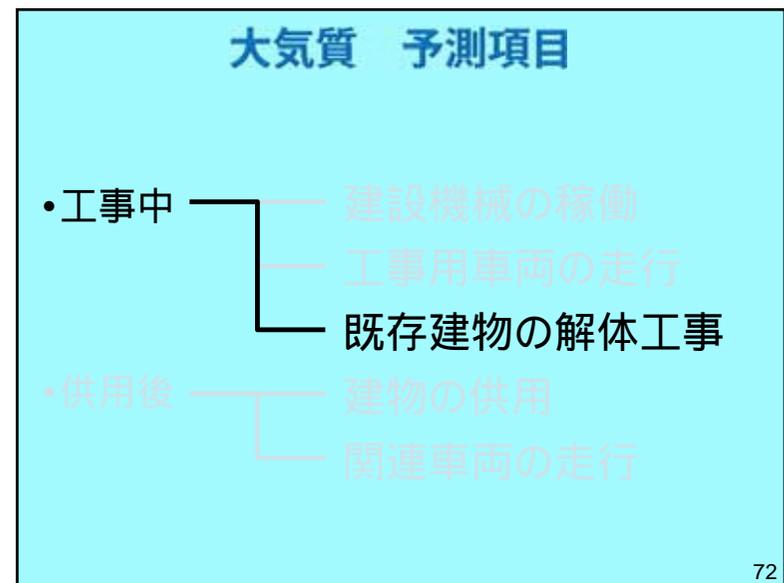
環境の保全のための措置

工事用車両の走行に伴う大気環境への影響

- 工事用車両の**計画的な運行管理**に努めます。
- 土曜日や祝日の工事にあたっては、**適宜、工事用車両の走行時間や走行台数の調整**に努めます。
- 工事関係者に対して、**高負荷運転をしないための指導・教育**も徹底します

など

71



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

大気質 予測結果 準備書 P.6.4-53~55

市会棟1～3号
 解体工事時に石綿含有建材が確認される可能性がある

解体工事

法令等の内容を遵守し、
 横浜市の指導等に従い、
 適切な対応を図っていきます。

73

環境の保全のための措置 準備書 P.6.4-56

解体工事の実施に伴うアスベストの飛散等による影響

- 解体に先立ち、対象事業実施区域内の既存構造物については、石綿含有建材の有無の確認とその特性について調査を行います。
- 解体時には「大気汚染防止法」や「横浜市生活環境の保全等に関する条例」に基づく届出を行い、モニタリング調査を実施するとともに、適正に処理を行います。

など

74

環境の保全のための措置 準備書 P.6.4-56

■ 解体工事の実施に伴うアスベストの飛散等による影響

- 解体に先立ち、対象事業実施区域内の既存構造物については、石綿含有建材の有無の確認とその特性について調査を行います。

環境保全目標

石綿排出作業を実施する際は
 法令等に基づいた飛散防止措置等を行い
 周辺環境へ石綿を飛散させないこと

75

大気質 予測項目

- 工事中
 - 建設機械の稼働
 - 工事用車両の走行
 - 既存建物の解体工事
- 供用後
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

76

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

| 大気質 予測結果 <small>準備書 P.6.4-65</small> | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|-----------------|
| 建物の供用に伴う大気環境への影響(二酸化窒素・長期予測) | | |
| 予測時期 | 予測結果 (日平均値の年間98%値) (ppm) | 環境保全目標 (ppm) |
| 計画建築物 の供用後 | 0.039 | 0.06以下 |

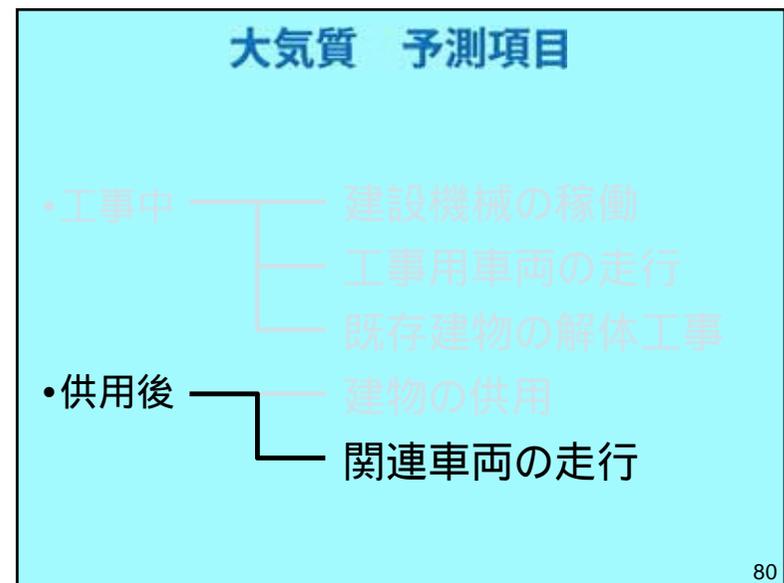
77

| 大気質 予測結果 <small>準備書 P.6.4-65</small> | | |
|--------------------------------------|--|--------------------------------|
| 建物の供用に伴う大気環境への影響(浮遊粒子状物質・長期予測) | | |
| 予測時期 | 予測結果 (日平均値の2%除外値) (mg/m ³) | 環境保全目標 (mg/m ³) |
| 計画建築物 の供用後 | 0.049 | 0.10以下 |

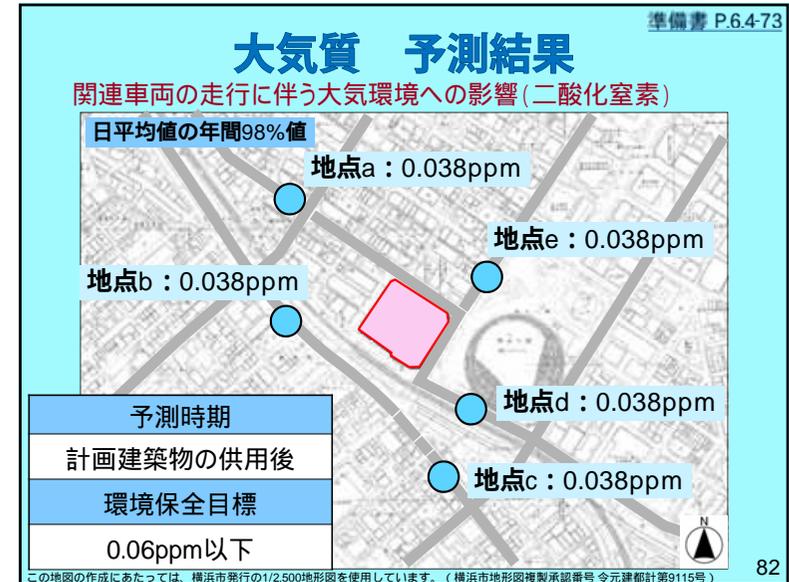
78

| 環境の保全のための措置 <small>準備書 P.6.4-68</small> | |
|--|----|
| 建物の供用に伴う大気環境への影響 | |
| 【計画立案時】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 計画建築物の熱負荷低減により、設備機器利用による排出ガス量を抑制していきます。 | など |
| 【計画建物供用後】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 地下駐車場におけるアイドリングストップや、急発進・急加速、空ぶかしをしない等、エコドライブの取組を促します。 | など |

79



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



- ### 環境の保全のための措置
- 準備書 P.6.4-74
- 関連車両の走行に伴う大気環境への影響
- 従業員に対しては、可能な限り **公共交通機関の利用**を推奨していきます。
 - 施設利用者に対しては、**公共交通機関の利用**を呼びかけ、自動車利用の抑制に努めます。
 - 従業員や施設利用者に対しては、駐車場における**アイドリングストップ**や、**エコドライブ**の取組を促します。
- など
- 84

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

騒音

85

騒音 予測項目

- 工事中
 - 建設機械の稼働
 - 工事用車両の走行
- 供用後
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

86

騒音 予測項目

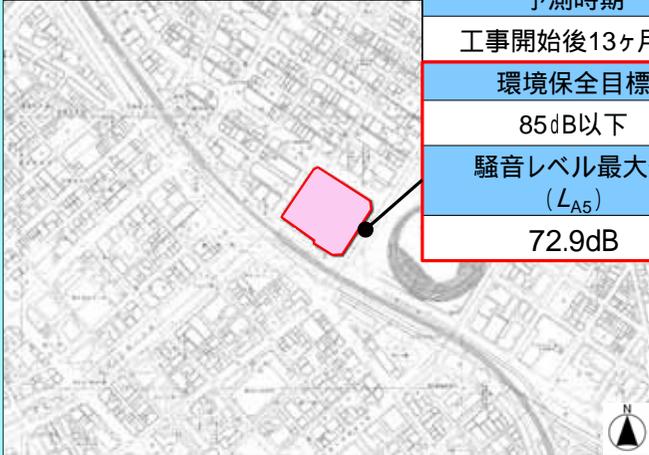
- 工事中
 - 建設機械の稼働
 - 工事用車両の走行
- 供用後
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

87

騒音 予測結果

準備書 P.6.5-18~6.5-19

建設機械の稼働に伴う騒音



| 予測時期 |
|--------------------------|
| 工事開始後13ヶ月目 |
| 環境保全目標 |
| 85dB以下 |
| 騒音レベル最大値 (L_{A5}) |
| 72.9dB |

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

88

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

環境の保全のための措置 準備書 P.6.5-20

建設機械の稼働に伴う騒音

- **低騒音型建設機械**を使用します。
- **施工計画**を十分に検討し、**建設機械の集中稼働を回避**します。
- **工事関係者**に対して、**高負荷運転をしないための指導・教育**を徹底します。

など

89

騒音 予測項目

- **工事中**
 - 建設機械の稼働
 - 工事用車両の走行
- **供用後**
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

90

騒音 予測地点 準備書 P.6.5-4

工事用車両の走行に伴う道路交通騒音

予測時期

工事開始後17ヶ月目

91

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

騒音 予測結果 準備書 P.6.5-27

工事用車両の走行に伴う道路交通騒音

等価騒音レベル(昼間:6時~22時)

増加分 全地点とも1dB未満

- 地点a : 66dB
- 地点b : 64dB
- 地点c : 66dB
- 地点d : 66dB
- 地点e : 63dB

予測時期

工事開始後17ヶ月目

環境保全目標

著しい影響を及ぼさないこと

92

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

環境の保全のための措置 準備書 P.6.5-28

工事中車両の走行に伴う道路交通騒音 (L_{Aeq})

- **計画的な運行管理**に努めます。
- 土曜日や祝日の工事にあたっては、**適宜、工事中車両の走行時間や走行台数の調整**に努めます。
- 工事関係者に対して、**高負荷運転をしないための指導・教育**も徹底します。
- 工事中車両の**整備・点検**を徹底します。

93

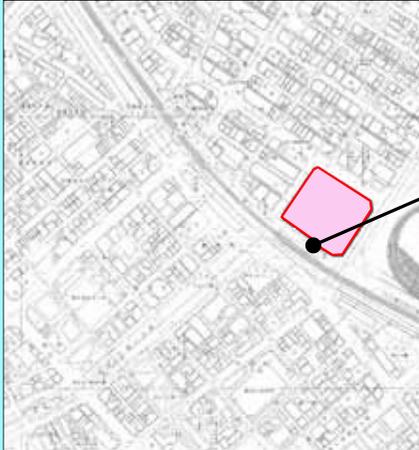
騒音 予測項目

- ・工事中
 - 建設機械の稼働
 - 工事中車両の走行
- ・供用後
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

94

騒音 予測結果 準備書 P.6.5-35~6.5-36

建物の供用に伴う騒音



| 予測時期 |
|-----------------------|
| 計画建築物の供用後 |
| 保全目標 |
| 50dB以下 |
| 騒音レベル最大値 (L_{A5}) |
| 48.4dB |

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

95

環境の保全のための措置 準備書 P.6.5-37

建物の供用に伴う騒音

- 設備の**整備・点検**を定期的 to 実施します。

96

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

騒音 予測項目

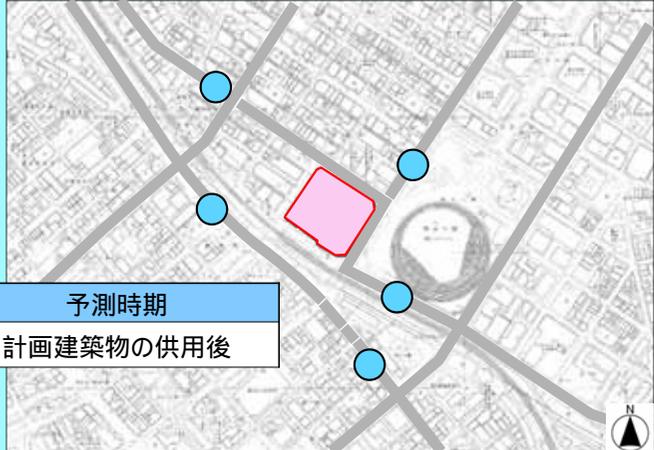
- 工事中
 - 建設機械の稼働
 - 工事用車両の走行
- 供用後
 - 建物の供用
 - 関連車両の走行

97

騒音 予測地点

準備書 P.6.5-4

関連車両の走行に伴う道路交通騒音



| 予測時期 |
|-----------|
| 計画建築物の供用後 |

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

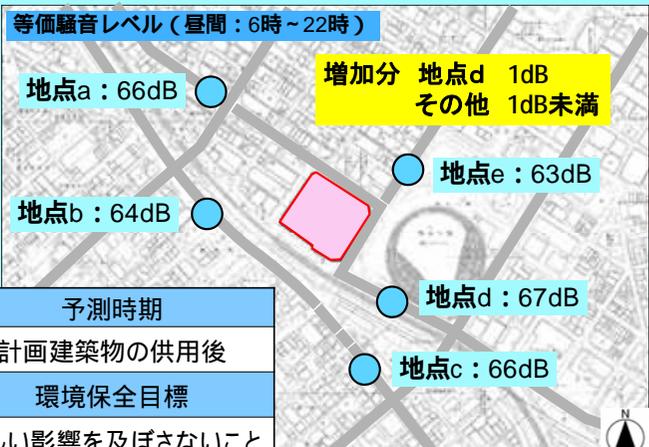
98

騒音 予測結果

準備書 P.6.5-40

関連車両の走行に伴う道路交通騒音

等価騒音レベル(昼間:6時~22時)



| 予測時期 |
|---------------|
| 計画建築物の供用後 |
| 環境保全目標 |
| 著しい影響を及ぼさないこと |

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

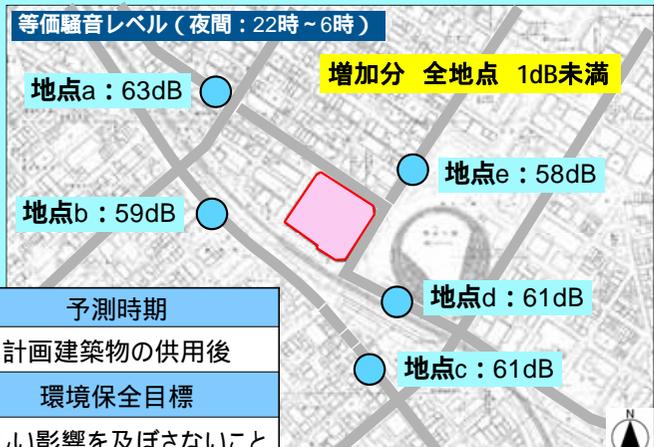
99

騒音 予測結果

準備書 P.6.5-40

関連車両の走行に伴う道路交通騒音

等価騒音レベル(夜間:22時~6時)



| 予測時期 |
|---------------|
| 計画建築物の供用後 |
| 環境保全目標 |
| 著しい影響を及ぼさないこと |

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

100

環境の保全のための措置 準備書 P.6.5-41

関連車両の走行に伴う道路交通騒音 (L_{Aeq})

- 従業員に対しては**公共交通機関の利用を推奨**していきます。
- 施設利用者に対しては、**公共交通機関の利用**を呼びかけ、**自動車利用の抑制**に努めます。
- 従業員や施設利用者に対しては、**エコドライブ**の取組を促します。

など

101

振 動

102

振動 予測項目

- 工事中 ———— 建設機械の稼働
 |
 └——— 工事用車両の走行
- 供用後 ———— 関連車両の走行

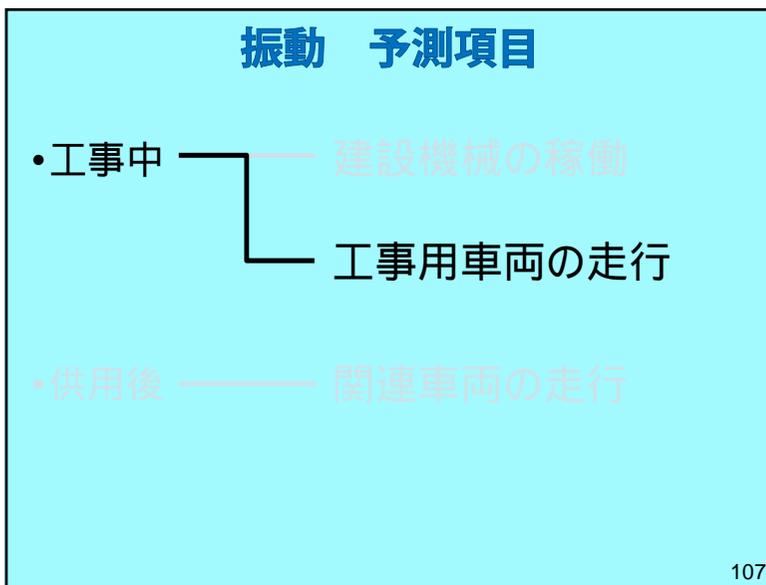
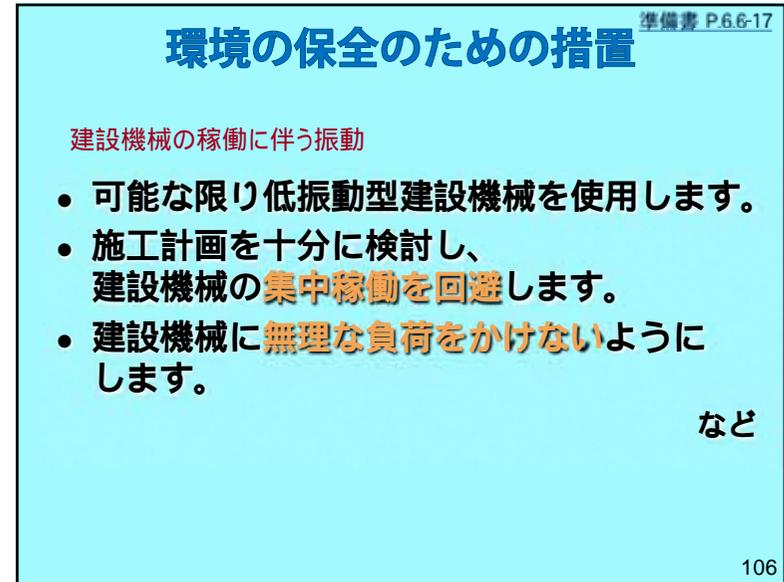
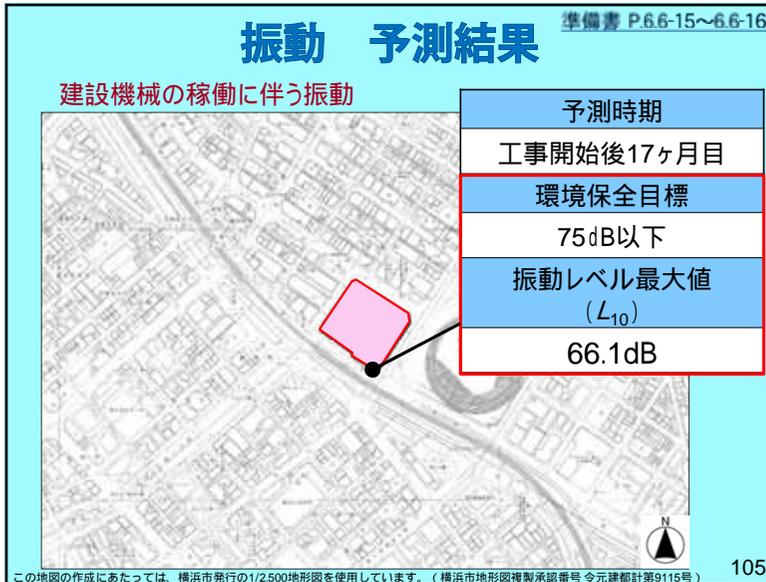
103

振動 予測項目

- 工事中 ———— 建設機械の稼働
 |
 └——— 工事用車両の走行
- 供用後 ———— 関連車両の走行

104

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

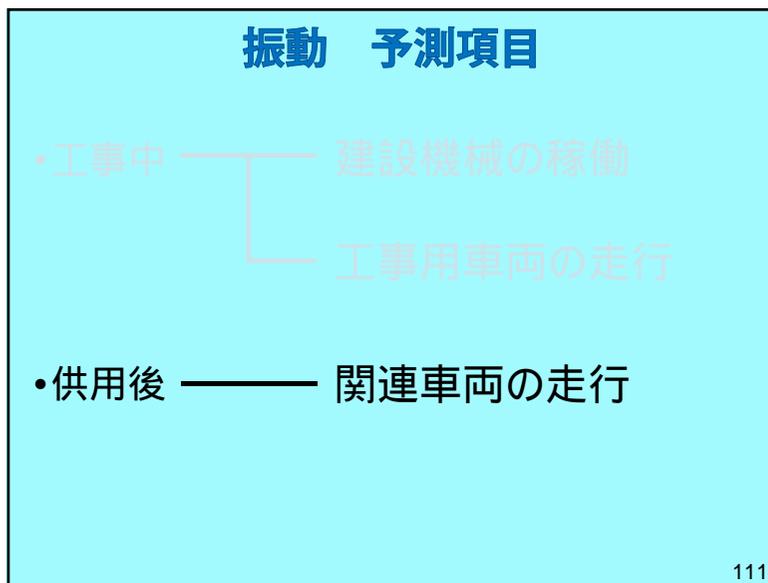


環境の保全のための措置 準備書 P.6.6-25

工事中車両の走行に伴う道路交通振動

- 工事中車両の**計画的な運行管理**に努めます。
- 土曜日や祝日の工事にあたっては、**適宜、工事中車両の走行時間や走行台数の調整**に努めます。
- 資材運搬業者等に対し、**エコドライブ**の実施を指導します。
- 工事中車両の**整備・点検**を徹底します。

110



この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

環境の保全のための措置 準備書 P.6.6-30

関連車両の走行に伴う道路交通振動

- 従業員に対しては**公共交通機関の利用**を推奨していきます。
- 施設利用者に対しては、**公共交通機関の利用**を呼びかけ、**自動車利用の抑制**に努めます。
- 従業員や施設利用者に対しては、**エコドライブ**の取組を促します。

など

113

地盤

114

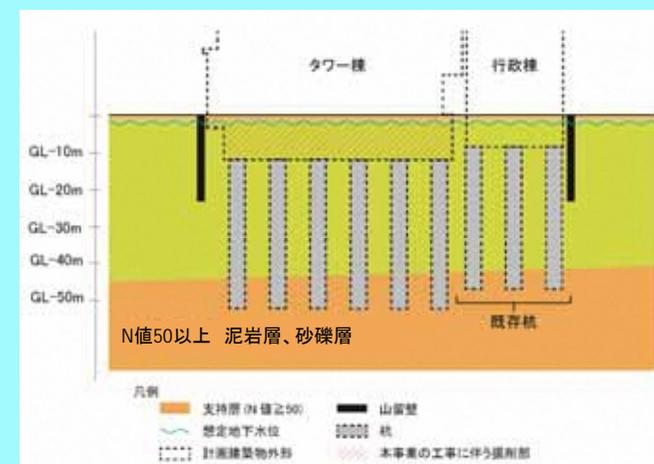
地盤 予測項目

- 地下掘削工事に伴う地盤沈下

115

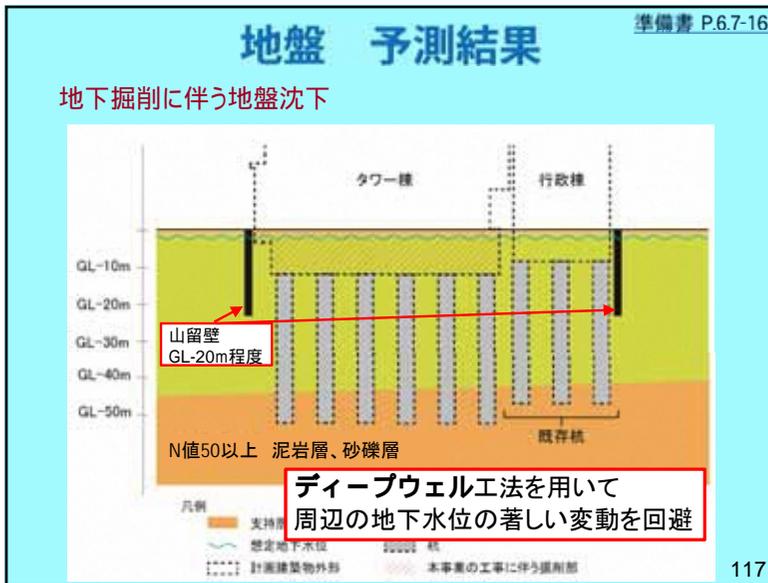
地盤 予測結果 準備書 P.6.7-16

地下掘削に伴う地盤沈下



116

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



環境の保全のための措置 準備書 P.6.7-17

地下掘削工事に伴う地盤沈下

- **剛性と遮水性の高い山留壁を構築し、山留壁からの地下水の湧出を極力防止します。**
- **工事中は、山留壁の変位の計測管理を行います。**
 また、対象事業実施区域周辺の歩道において**地盤沈下が発生していないか監視**します。
- **計画建築物は堅固な地盤に支持させます。**

など

118

環境の保全のための措置 準備書 P.6.7-17

■地下掘削工事に伴う地盤沈下

- **剛性と遮水性の高い山留壁を構築し、山留壁からの地下水の湧出を極力防止します。**
- **工事中は、山留壁の変位の計測管理を行います。**

環境保全目標

掘削工事に伴う地盤沈下を
極力生じさせないこと

など

119

電波障害

120

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

電波障害 予測項目

- 計画建築物による
 テレビジョン電波障害の状況
 (地上デジタル放送・衛星放送)

121

電波障害 予測結果

準備書 P.6.8-13

テレビジョン電波障害の状況(地上デジタル放送)

受信障害予測範囲

- 電波到来方向
- 東京局 (東京スカイツリー)
- テレビ神奈川 (TVKタワー)
- みなとみらい中継局 (ランドマークタワー)

この地図の作成にあたっては、国土地理院発行の1/25,000地形図を使用しています。

122

電波障害 予測結果

準備書 P.6.8-14

テレビジョン電波障害の状況(衛星放送)

受信障害予測範囲

- 電波到来方向
- BS、CS放送
- スカイパーフェクトTV (パーフェクサービス)
- スカイパーフェクトTV (パーフェクサービス)

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

123

環境の保全のための措置

準備書 P.6.8-15

テレビジョン電波障害の状況

【工事中】

- 工事中のクレーン未使用時には、**ブームを電波到来方向に向ける等の適切な障害防止対策を講じます。**
- **連絡窓口を明確にし、迅速な対応を図ります。**
 など

【計画建物供用後】

- **本事業に起因するテレビジョン電波障害に対しては、適切な対策を行うこととします。**

124

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

環境の保全のための措置 準備書 P.6.8-15

■テレビジョン電波障害の状況
【工事中】

- 工事中のクレーン未使用時には、ブームを電波到来方向に向ける等の適切な障害防止対策を講じます。
- 連絡窓口を明確にし、迅速な対応を図ります

| 環境保全目標 |
|--|
| 計画建築物の存在によるテレビジョン電波障害の発生により、現況の電波受信状況を悪化させないこと |

125

日影

126

日影 予測項目

- 計画建築物による日影の範囲及び変化の程度
(冬至日、夏至日、春秋分日)

127

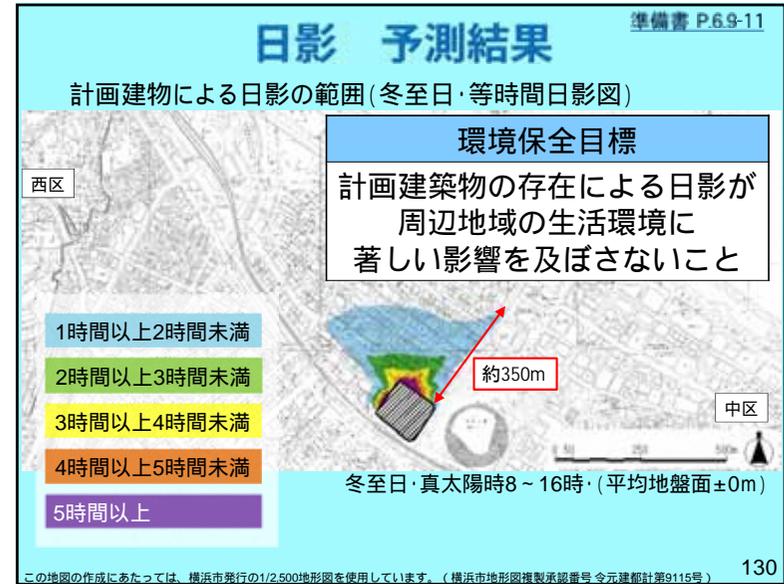
計画段階における配慮 準備書 P.6.9-16

- 計画建築物（タワー棟）を敷地境界から後退させつつ、建物の幅を極力スリムにすることで、計画建築物の日影が落ちる範囲を可能な範囲で小さくします。



128

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



風 害

131

風害 予測項目

- 計画建築物による風環境の変化の程度

132

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



風害 予測条件 準備書 P.6.10-7

風洞実験 実験ケース

| 実験ケース | 予測時期 |
|-------|----------------------------|
| ケース1 | 現況 |
| ケース2 | 計画建築物完成後（防風対策前） |
| ケース3 | 計画建築物完成後（ 防風対策実施後 ） |

134



風害 予測条件 準備書 P.6.10-17

風洞実験 風環境評価の指標（村上式）

| 領域区分 | | |
|------|---|--------------------|
| ランク1 | ● | 住宅地の商店街 野外レストラン |
| ランク2 | ● | 住宅街 公園 |
| ランク3 | ● | 事務所街 |
| ランク外 | ● | ————— |

136

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



環境の保全のための措置

準備書 P.6.10-23

計画建物による風環境の変化の程度

【計画立案時】

- **低層部を基壇形状とするほか、庇の設置及び北西部の一部切欠きを実施します。**
- **風環境評価結果を踏まえ、防風効果のある高さ7~8m程度の防風植栽(常緑樹)を整備します。**

など

【計画建物供用後】

- **防風植栽を含めた全ての植栽の維持管理を適正に行います。**

140

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

準備書 P.6.10-23

環境の保全のための措置

■計画建物による風環境の変化の程度
 【計画立案時】

- 低層部を基壇形状とするほか、庇の設置及び北西部の一部切欠きを実施します。
- 風環境評価結果を踏まえ、防風効果のある

環境保全目標

計画建築物の存在による風環境の変化が
 周辺地域の生活環境に
 著しい影響を及ぼさないこと

- 防風植栽を含めた全ての植栽の維持管理を適正に行います。

141

安全（浸水）

142

安全 予測項目

- 計画建築物の浸水に対する安全性の確保

143

準備書 P.6.11-5, 11

安全 予測結果

計画建築物の浸水に対する安全性の確保
 【過去の極端な気象現象（横浜地方気象台 平成22年～令和元年）】

| | 平均 | 最大 |
|----------------------|---------|---------|
| 年間降水量 (mm) | 1,775.6 | 1,997.5 |
| 日降水量50mm以上の日数 (日/年) | 7.1 | 10.0 |
| 日降水量100mm以上の日数 (日/年) | 1.5 | 3.0 |
| 日降水量の最大 (mm) | 126.3 | 192.5 |
| 10分間降水量の最大 (mm) | 16.7 | 26.0 |

144

準備書 P.6.11-12

環境の保全のための措置

計画建築物の浸水に対する安全性の確保

- 計画建築物は堅固な地盤で支持させます。
- 主な設備機械をタワー棟の8、9階や行政棟等の屋上に、非常用発電機及び備蓄倉庫を浸水の被害を受けない高さに設置します。
- 災害時には、地域防災機能の強化として、施設の一部を帰宅困難者が利用可能な一時待機場所として活用します。
- 災害に強いインフラとして、非常用発電機の設置、仮設テント、仮設トイレの設置を可能とする空間や備蓄倉庫を整備します。

など

145

準備書 P.6.11-12

環境の保全のための措置

■計画建築物の浸水に対する安全性の確保

- 計画建築物は堅固な地盤で支持させます。
- 主な設備機械をタワー棟の8、9階や行政棟等の屋上に、非常用発電機及び備蓄倉庫を浸水の被害を受けない高さに設置します。

| 環境保全目標 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 過去の災害事例を踏まえ、計画建築物内での安全・安心の確保が構築されていること● 地域防災機能の強化に貢献すること |

など

146

地域社会

147

地域社会 予測項目

- 工事中
 - └ 工事用車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
- 供用後
 - └ 関連車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
 - └ 建物の供用に伴う歩行者交通混雑(サービス水準)

148

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

地域社会 予測項目

- 工事中
 - └ 工事用車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
- 供用後
 - └ 関連車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
 - └ 建物の供用に伴う歩行者交通混雑(サービス水準)

149

地域社会 調査予測地点

交通混雑及び歩行者の安全(工事中)

| 地点 | ピーク時(平日) |
|-----|---------------|
| 地点1 | 13:30 ~ 14:30 |
| 地点2 | 17:15 ~ 18:15 |
| 地点3 | 15:30 ~ 16:30 |
| 地点4 | 16:45 ~ 17:45 |
| 地点5 | 17:00 ~ 18:00 |
| 地点6 | 17:15 ~ 18:15 |
| 地点7 | 13:30 ~ 14:30 |

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

150

地域社会 調査結果

交差点需要率(現況)

| 地点 | 平日 |
|-----|-------|
| 地点1 | 0.217 |
| 地点2 | 0.373 |
| 地点3 | 0.197 |
| 地点4 | 0.350 |
| 地点5 | 0.345 |
| 地点6 | 0.304 |
| 地点7 | 0.248 |

円滑な交通処理が可能とされる目安
0.9
全地点で下回る

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

151

地域社会 調査結果

車線混雑度の最大値(現況)

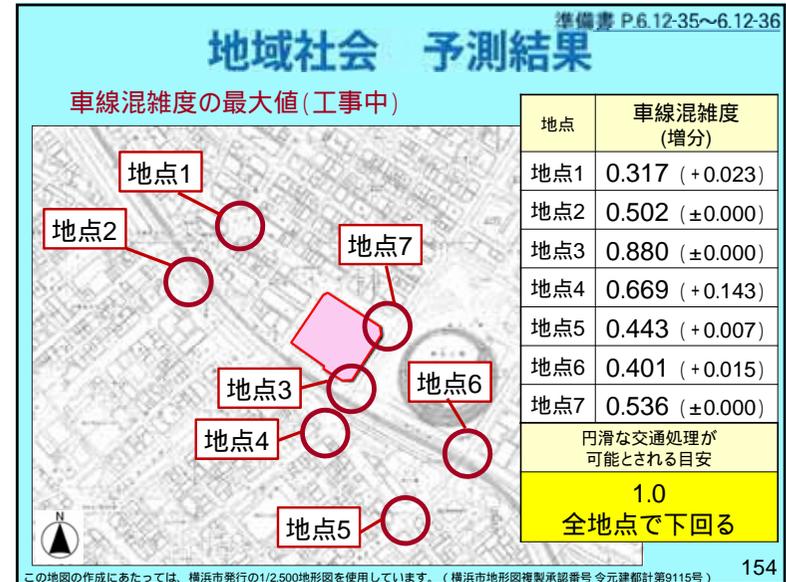
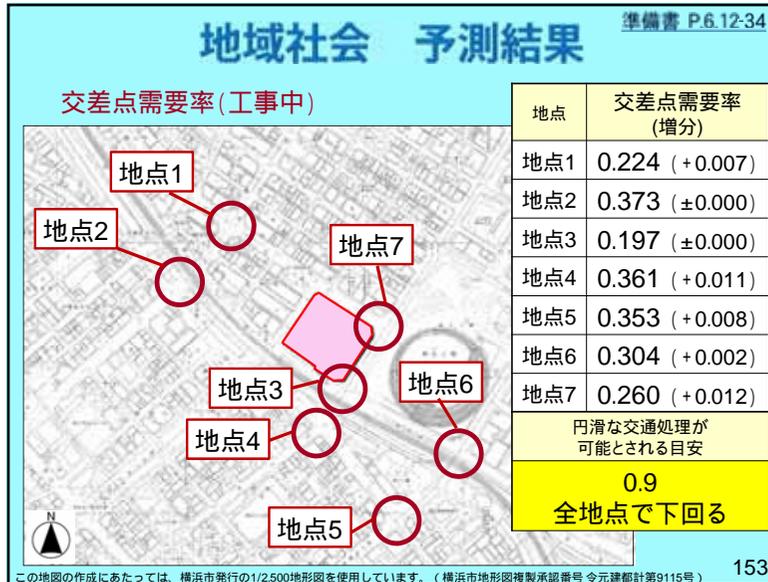
| 地点 | 平日 |
|-----|-------|
| 地点1 | 0.294 |
| 地点2 | 0.502 |
| 地点3 | 0.880 |
| 地点4 | 0.526 |
| 地点5 | 0.436 |
| 地点6 | 0.398 |
| 地点7 | 0.536 |

円滑な交通処理が可能とされる目安
1.0
全地点で下回る

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

152

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。



環境の保全のための措置 準備書 P.6.12-37

工事用車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全

【交通混雑】

- 工事用車両が特定の日、特定の時間帯に集中しないよう、**計画的な運行管理**に努めます。
- 土曜日や祝日**ならびに**プロ野球開催日**の工事にあたっては、周辺交通状況を勘案し、適宜、工事用車両の走行時間や台数の調整に努めます。

【歩行者の安全】

- 工事用車両が出入りする時間帯には原則として車両出入口に**交通誘導員**を配置し、**一般通行者や一般通行車両の安全管理**に努めます。

など

155

環境の保全のための措置 準備書 P.6.12-37

工事用車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全

【交通混雑】

- 工事用車両が特定の日、特定の時間帯に集中しないよう、計画的な運行管理に努めます。
- 土曜日や祝日ならびにプロ野球開催日の

環境保全目標

- 交通混雑：
周辺交通に著しい影響を及ぼさないこと
- 歩行者の安全：
歩行者等の安全な通行が確保されること

など

156

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

地域社会 予測項目

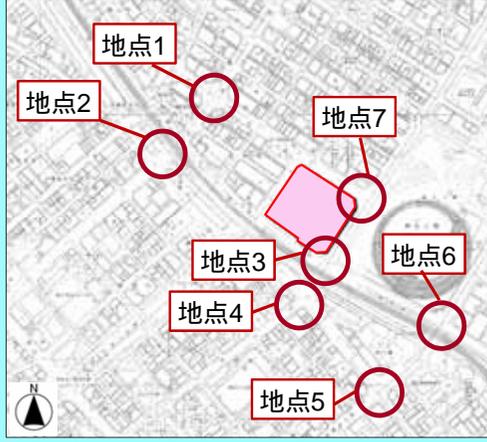
- ・工事中
 - └ 工事用車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
- ・供用後
 - └ 関連車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
 - └ 建物の供用に伴う歩行者交通混雑(サービス水準)

157

地域社会 予測結果

準備書 P.6.12-42

交差点需要率(供用後)



| 地点 | 交差点需要率(増分) |
|------------------|----------------|
| 地点1 | 0.280 (+0.063) |
| 地点2 | 0.387 (+0.012) |
| 地点3 | 0.199 (+0.002) |
| 地点4 | 0.384 (+0.034) |
| 地点5 | 0.374 (+0.029) |
| 地点6 | 0.304 (±0.000) |
| 地点7 | 0.250 (+0.012) |
| 円滑な交通処理が可能とされる目安 | |
| 0.9 | |
| 全地点で下回る | |

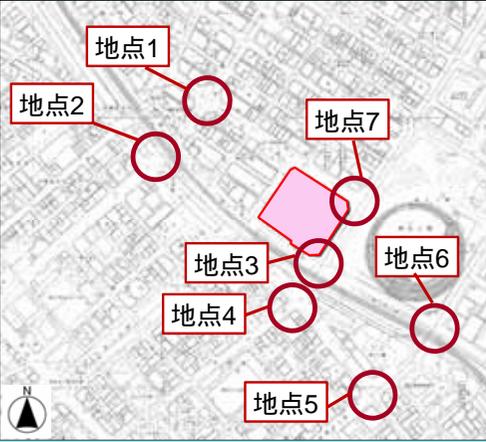
この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

158

地域社会 予測結果

準備書 P.6.12-43~6.12-44

車線混雑度の最大値(供用後)



| 地点 | 車線混雑度(増分) |
|------------------|----------------|
| 地点1 | 0.498 (+0.204) |
| 地点2 | 0.509 (±0.000) |
| 地点3 | 0.894 (+0.095) |
| 地点4 | 0.948 (+0.422) |
| 地点5 | 0.476 (+0.040) |
| 地点6 | 0.407 (±0.021) |
| 地点7 | 0.545 (+0.009) |
| 円滑な交通処理が可能とされる目安 | |
| 1.0 | |
| 全地点で下回る | |

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

159

環境の保全のための措置

準備書 P.6.12-45

関連車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全

【交通混雑】

- 施設利用者に対しては、公共交通機関の利用を呼びかけます。

など

【歩行者の安全】

- 関連車両出入口付近に適宜、交通誘導員を配置し、歩行者の安全に配慮していきます。

など

160

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

環境の保全のための措置 準備書 P.6.12-45

■関連車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全

【交通混雑】

- 施設利用者に対しては、公共交通機関の利用を呼びかけます。

など

環境保全目標

- 交通混雑：周辺交通に著しい影響を及ぼさないこと
- 歩行者の安全：歩行者等の安全な通行が確保されること

161

地域社会 予測項目

- ・工事中
 - 工事用車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
- ・供用後
 - 関連車両の走行に伴う交通混雑及び歩行者の安全
 - 建物の供用に伴う歩行者交通混雑(歩行者サービス水準)

162

地域社会 予測地点 準備書 P.6.12-50

供用後の歩行者サービス水準

163

地域社会 予測結果 準備書 P.6.12-50

供用後の歩行者サービス水準

| 地点 | 将来歩行者流量 (人/m・分) |
|----|--------------------|
| | 平日 |
| 地点 | 8.7 |
| 地点 | 6.3 |
| 地点 | 5.7 |
| 地点 | 11.6 |

自由歩行が可能な水準
A: 0 ~ 27 人/m・分
 全ての地点で水準A

164

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

準備書 P.6.12-51

環境の保全のための措置

建物の供用に伴う歩行者の交通混雑

【計画立案時】

- 駅前広場等の広場空間や計画建築物の**東側1階レベル外周に歩道状空地を整備**します。
- 計画建築物**2階の東側**を横浜市によって整備されるデッキに接続し、**横浜スタジアムへのアクセスを確保**します。 など

【計画建物供用後】

- **横浜スタジアム等のイベント開催時には、必要に応じてイベント興行者が実施する歩行者誘導対策に協力**していきます。 など

165

準備書 P.6.12-51

環境の保全のための措置

■建物の供用に伴う歩行者の交通混雑

【計画立案時】

- 駅前広場等の広場空間や計画建築物の**東側1階レベル外周に歩道状空地を整備**します。
- 計画建築物**2階の東側**を横浜市によって整備される

| 環境保全目標 |
|---|
| ● 歩行者の交通混雑： 周辺交通に著しい影響を及ぼさないこと。 |
| ● 横浜スタジアム等のイベント開催時には、必要に応じてイベント興行者が実施する歩行者誘導対策に協力していきます。 など |

166

景 観

167

景観 予測項目

- 地域景観の特性の変化
- 主要な眺望地点からの景観の変化
- 圧迫感の変化

168

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

景観 予測結果 準備書 P.6.13-15

地域景観の特性の変化

- 行政棟を景観資源として保全活用
- LVA棟のデザインを行政棟の格子フレームと調和させる
- タワー棟の外壁色に明色を採用
- タワー棟の建物の幅をスリム化

歴史的な景観に配慮するとともに
 地域の新たなシンボルタワーを擁する
 魅力と品格のある眺望景観が創出される

169

景観 予測地点 準備書 P.6.13-4

主要な眺望地点からの景観の変化

170

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

景観 予測地点 準備書 P.6.13-4

主要な眺望地点からの景観の変化

171

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

景観 予測結果 準備書 P.6.13-16

主要な眺望地点からの景観の変化(地点2:野毛山公園内展望地区)

172

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

景観 予測結果 準備書 P.6.13-16

主要な眺望地点からの景観の変化(地点2:野毛山公園内展望地区)



173

景観 予測結果 準備書 P.6.13-27

主要な眺望地点からの景観の変化
(地点18:尾上町一丁目交差点付近)



174

景観 予測結果 準備書 P.6.13-27

主要な眺望地点からの景観の変化
(地点18:尾上町一丁目交差点付近)



175

景観 予測結果 準備書 P.6.13-28

主要な眺望地点からの景観の変化(地点19:横浜スタジアム)



176

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

景観 予測結果 準備書 P.6.13-28

主要な眺望地点からの景観の変化(地点19:横浜スタジアム)



177

環境の保全のための措置 準備書 P.6.13-33

地域景観の特性の変化、主要な眺望地点からの景観の変化、
圧迫感の変化

- **行政棟を現位置保全し、**
関内地区の歴史的な景観に配慮します。
- 建物の**形状、デザイン・色彩**等については、
眺望の調和や圧迫感の低減に努め、
関係機関等との協議を経て確定させます。
- 圧迫感を軽減するため、計画建築物の周辺に
広場空間を整備する計画とします。
- 「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」、
「横浜市景観ビジョン」、「横浜市景観計画」、
「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」等を
踏まえて魅力ある都市景観の創造に努めます。

178

環境の保全のための措置 準備書 P.6.13-33

■地域景観の特性の変化、主要な眺望地点からの景観の変化、
圧迫感の変化

- 行政棟を現位置保全し、
関内地区の歴史的な景観に配慮します。
- 建物の形状、デザイン・色彩等については、
眺望の調和や圧迫感の低減に努め

| 環境保全目標 |
|--|
| ・周辺景観との調和を著しく損なわないこと。 ・近景域での圧迫感の軽減に努めること。 |
| ● 「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」、 「横浜市景観ビジョン」、「横浜市景観計画」、 「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」等を 踏まえて魅力ある都市景観の創造に努めます。 |

179

事後調査

180

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので取り扱いにご注意願います。
 この資料は「横浜市現市庁舎街区活用事業 環境影響評価準備書」の内容を抜粋したものです。

事後調査項目の選定 準備書 P.8-2~8-3

| | | | |
|------------|-----------|----------------|--------------|
| 工事中 | 廃棄物 | 産業廃棄物 建設発生土 | 発生量及び処分量など |
| | 騒音 | | 建設機械稼働時の騒音など |
| | 振動 | | 建設機械稼働時の振動など |
| 供用後 | 生物多様性(動物) | | 動物の状況など |
| | 騒音 | | 設備稼働時の騒音など |
| | 風害 | | 供用後の風向風速状況 |
| | 景観 | | 景観の変化 |

事後調査項目として選定しない項目も含めた全ての項目について準備書に記載した環境の保全のための措置の実施状況を報告します。

181

対象地域

182

対象地域 準備書 P.9-1~9-3

この地図の作成にあたっては、横浜市発行の1/2,500地形図を使用しています。(横浜市地形図複製承認番号 令元建都計第9115号)

183